

Ver.20 改訂内容

2021年 5月 31日リリース

1. 杭基礎時の杭の断面変化対応
2. 配筋入力画面での3D配筋表示に対応
3. ボーリング交換用データインポート対応
4. 3Dパラメトリックツールに対応
5. 3Dアトリビュート(属性表示)対応

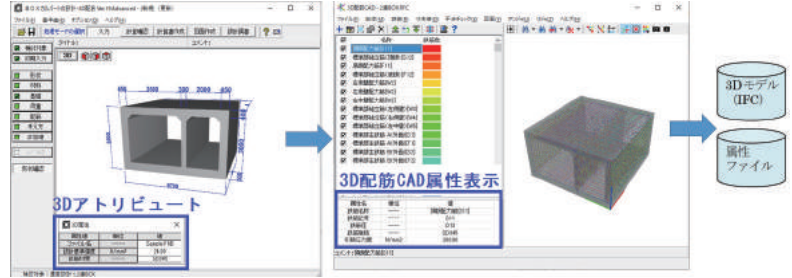
▼地盤画面



▼3Dアトリビュートの「3D配筋CAD」連動



▼配筋情報入力時の3D配筋表示



適用基準及び参考文献

1. 道路土工 カルバート工指針 (H21年度版) H22年3月 日本道路協会
2. 道路土工 カルバート工指針 H11年3月 日本道路協会
3. 土木構造物設計ガイドライン H11年11月 全日本建設技術協会
4. 土木構造物標準設計第1巻 (暗さよ類) H12年9月 全日本建設技術協会
5. 設計要領第二集 カルバート編 H28年8月 NEXCO
6. ボックスカルバート標準設計図集 H11年5月 日本道路協会
7. 土地改良事業標準設計図面集「ボックスカルバート工」利用の手引き H11年3月 農林水産省構造改善局
8. CIM導入ガイドライン (案) R2年3月 国土交通省
9. 3次元モデル表記標準 (案) R2年3月 国土交通省
10. コンクリート標準示方書 設計編 2007年制定 土木学会
11. 共同溝設計指針 S61年3月 日本道路協会
12. 駐車場設計・施工指針 同解説 H4年11月 日本道路協会
13. 下水道施設の耐震対策指針と解説 2014年版、2006年版 日本下水道協会
14. 下水道施設耐震設計算例—管路施設編—前編 2015年版 日本下水道協会
15. 土地改良施設 耐震設計の手引き H16年3月 農業土木学会
16. 土地改良事業計画設計基準・設計「水路工」 H26年3月 農業農村工学会

PCボックスカルバートの設計計算 Ver.3

プログラム価格
¥179,300
(税抜 ¥163,000)

水路用・通路用PCボックスカルバートの設計計算プログラム

Windows 8/10 対応
3DA対応
電子納品 3D PDF

道路下に埋設される水路用、通路用に広く利用されるPCボックスカルバートの設計をサポートするプログラム。頂版、底版はPC鋼棒を使用したポストテンション方式のプレキャストコンクリート部材、側壁は鉄筋コンクリート部材となります。

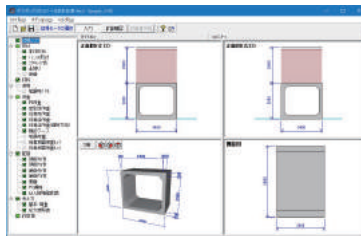
- 頂版、底版をプレストレストコンクリート部材(PC部材)、側壁を鉄筋コンクリート部材(RC部材)とした1連PCボックスカルバートの断面方向計算
- 断面形状: 単ボックスで標準形、インバート形
- 活荷重: T荷重(単軸、2軸)、TT-430荷重の1連BOX自動載荷
- 死荷重: 鉛直土圧、水平土圧、路面荷重、水圧、揚圧力、任意死荷重
- 地震荷重: 地盤変位荷重(地震時土圧)、躯体慣性力、周面せん断力も考慮可能、地震時任意荷重も対応
- 断面方向の検討: 応力度(PC・RC)、引張鉄筋量(PC)、破壊安全度(PC・RC) 照査
- レベル2地震時の検討の場合、耐力照査(PC・RC)も可能
- 応答変位法による地震時の検討対応
- 断面力の計算は、微小変形理論に基づく変位法を用いて計算、データは全てプログラム内部で自動的生成

Ver.3 改訂内容

2020年 7月 31日リリース

1. 「下水道施設の耐震対策指針と解説 2014年版」、「下水道施設耐震計算例—管路施設編—前編 2015年版」に対応
2. 複数水位ケース対応
3. 3Dアトリビュート(属性表示)対応

▼メイン画面



▼地盤入力画面



アーチカルバートの設計計算 Ver.2

プログラム価格
¥157,300
(税抜 ¥143,000)

アーチカルバートの断面方向、縦方向の設計を支援するプログラム

Windows 8/10 対応
3DA対応
電子納品 3D PDF

「道路土工カルバート工指針(H21年度版)日本道路協会」を参考としたアーチカルバートの横断方向、縦断方向の断面力算出および断面照査を行うプログラムです。1連アーチカルバートの標準形、インバート形に対応しています。

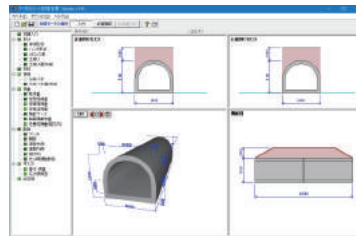
- 1連アーチカルバートの断面方向(1ブロック)、縦方向(最大5ブロック)の計算
- 断面形状: 標準形、インバート形
- 基礎形式は直接基礎とし、地盤反力度と分布バネから選択可能
- 死荷重: 鉛直土圧、水平土圧、路面荷重、水圧、揚圧力、内水圧、任意死荷重 最大5ケースまで考慮可能
- 活荷重: 定型活荷重(T荷重(単軸、2軸)、TT-430荷重)の自動載荷
- 活荷重ケースは定型活荷重、任意活荷重、分布荷重(土被り≧制限土被り) 合計7ケースまで考慮
- 断面方向: 微小変形理論に基づいた変位法による平面骨組み構造解析により断面力算出、計算を行うためのデータは全てプログラム内部で自動的生成
- 縦方向: カルバート本体を鉛直方向に分布バネを有する一本棒状の部材とし、ブロック左端を鉛直ローラー支点、ブロック継目はピン結合としてフレームモデル化し、骨組み解析により断面力を算出

Ver.2 改訂内容

2020年 1月 20日リリース

1. 断面方向の耐震設計対応(応答変位法)
2. 多層地盤対応
3. 付着応力度照査対応

▼メイン画面



▼地盤入力画面

